

運営推進会議議事録

事業所名	川俣ホームデイサービスセンター
開催日時	令和5年4月27日(木) 14時00分～15時00分
開催場所	川俣ホーム家族介護者教育室
参加者	利用者家族代表者 3名 市町村関係 2名 地域住民代表者 1名 事業所職員 4名 有識者 1名
議題	(1) 通所介護の利用状況、活動状況の報告 (2) 事故・ヒヤリはっと報告、苦情報告 (3) 「ユマニチュード」について (4) 介護相談会について (5) 意見交換・質疑応答 (6) 次回運営推進会議日程について

(1) 通所介護の利用状況、活動状況の報告

<利用状況>

地域密着型通所介護（Ⅰ型）定員15名 認知症対応型通所介護（Ⅱ型）定員12名

○利用者数

		R4.10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月
	稼働日数	26日	26日	25日	24日	24日	27日
Ⅰ型	利用者数(延べ)	321人	287人	288人	302人	287人	307人
	平均利用人数	12.3人	11.0人	11.5人	12.6人	12.0人	11.4人
	登録人数	40人	40人	42人	41人	40人	38人
	うち要支援	8人	7人	8人	6人	7人	6人
Ⅱ型	利用者数(延べ)	168人	183人	165人	162人	160人	205人
	平均利用人数	6.5人	7.0人	6.6人	6.8人	6.7人	7.6人
	登録人数	21人	24人	25人	26人	24人	26人
	うち要支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人

○介護別登録者状況（令和5年3月現在） 男女比（3月登録分）総数64人 男9：女55

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
Ⅰ型	2人	4人	16人	9人	5人	2人	0人	38人
Ⅱ型	0人	0人	3人	5人	9人	7人	2人	26人

○平均要介護度（令和4年度） ○年齢別利用者状況（令和5年3月現在）

Ⅰ型	1.7							
Ⅱ型	2.8							
		60代	70代	80代	90代	100代	平均年齢	
		Ⅰ型	1人	2人	15人	19人	1人	89.9歳
		Ⅱ型	1人	8人	8人	8人	1人	84.6歳

<活動状況>

月	デイの行事・調理訓練・行事湯	施設全体
10月	味噌おにぎり、ライブキッチン、香りの湯	芋煮会、株) Be-A Japn 講演会
11月	制作活動、菊手水、薬膳湯	
12月	ふかし芋、冬至かぼちゃ、忘年会、ゆず湯	クリスマス会
1月	ひきな炒り、ライブキッチン、リンゴ湯	新年会、コロナワクチン接種(5回目)、 ユマニチュードオンライン研修
2月	ライブキッチン、保湿湯	
3月	蒸しパン、ライブキッチン、保湿湯	全体研修会

※そのほか毎月 介護相談会・月間デイ便り発行・消防訓練・お誕生会を随時開催
スライドを使用し、Ⅰ型、Ⅱ型の主な活動の様子を紹介
「炊き出し訓練」「忘年会」「ユマニチュードキャラバン研修」「認知症介護実践者研修終了者」「レクリエーション・余暇活動」についての報告

(2) 事故・ヒヤリはっと報告、苦情報告 (令和4年10月～令和5年3月)

<事故・ヒヤリはっと報告> ※ヒヤリはっと…事故に至る前に未然防止した事象

事故件数 6件

ヒヤリはっと 3件

<苦情報告>

受付件数 0件

(3) 「ユマニチュード」について

オンラインにてユマニチュードキャラバン研修を職員が受講した。ユマニチュードとは、フランスで生まれた認知力の向上を目指す、介護を通して人と人との絆を深めるケア・コミュニケーション技法である。川俣ホームでもご利用者と接する中でこの技法を実践していこうと今年度の事業計画にも組み込まれている。

(4) 介護相談会について

昨年春から『介護なんでも相談会』を開催していたが、令和5年2月より新たに川俣町地域包括支援センター主催のオレンジカフェと共催して開催することとなった。年間予定も決定し、地域住民の方々により一層貢献できるよう努めていきたい。

(5) 意見交換・質疑応答

○【事業所】実際に非常食のアルファ化米のおにぎりや非常食用のパンを試食して頂きました。召し上がってどうですか。

【参加者一同】「味に関して初めて食べましたが、悪くはないです。」「固さも丁度良いです。」「想像よりは、美味しいです。」

○【社会福祉協議会 I 様】東日本大震災の時も活用したのですか。

【事業所】はい、提供させて頂きました。パンは、口の中がもそもそする方もいらっしゃるのでは、その際はパン粥にして提供をしました。アルファ化米は、水からでも炊く

事ができ、電気やガスがない状況でも活用できます。また、お赤飯の他に山菜おこわ等もあり、おかずが少ない状況でも、味付きであればご飯だけで召し上がって頂けるのではないかと思います。川俣ホームでは、4日分の非常食の備蓄をしています。震災の時だけではなく、防災の日に合わせてご利用者に非常食を提供し、定期的に備蓄食品の入れ替えをしています。

- 【利用者家族 S様】義理の母が週3回お世話になっております。ホームに来る事自体楽しいことだという事が分かります。家族ではできない事を色々して頂き、食事も本当に大切なことだと思います。また、こちらを利用している親戚が前日の体調確認の連絡が付かないとホームさんより連絡を頂き、自宅訪問をしてきています。一人暮らしの方に対して、今回のようなことは大変ありがたく、これをきっかけに今後もっと地域に頼って貰えればいいのではないかと思います。これからも宜しくお願いします。
- 【利用者家族 O様】私もですが、怪我をして母の介護が難しくなった時に色々ケアマネジャーさんやデイの職員さんなどに助けて貰いました。久々に会う友達や近所の方との会話で「元気じゃない」や「一緒に住んでいるおばあちゃんどうしよう」などの内容が多いです。老々介護が増えてきているので、介護者が倒れてしまうとどうすることもできない。そう言う時にケアマネジャーさんに相談したり、近所の人を頼ったりしている。近所付き合いはとても大切。困った時は助け合えます。
- 【利用者家族 K様】自宅では、運動があまりできずホームで体を動かすのはとてもありがたい。改善はしていないにしろ、利用することで現状維持できていると思っており、助かっています。
【事業所】利用当初は、精神状態が不安定でご家族様にも色々ご協力して頂く事も多くありました。利用していくにつれ、職員との信頼関係も生まれ、ご本人の気持ちも安定される事も多くなってきました。ご自宅での日々のエピソードなどをいつも連絡帳に記入して頂いて、私達職員も楽しみに読ませて頂いています。何かあった時にはいつでも相談して頂き、一緒に対応を考えていけたらと思います。
- 【地域代表 T様】毎回会議に参加する度、自分にできることは、色々な事にお困りの地域住民の方が少しでも良い方向にいくよう橋渡しをすることだと思っています。これからも宜しくお願いします。
- 【市町村関係 S様】Ⅱ型の利用者数を見ると増加はしているも、まだ空きがある状況ですね。色々、活動等されているが、Ⅱ型の利用がどうして増えないのかなと疑問に思ってしまう。私達も発信していきたいと思しますので、これからも色々な活動を続けていって下さい。
- 【社会福祉協議会 I様】コロナ禍前は、担当のご利用者さんのデイサービスの様子を直接見ることができていましたが、色々解除になることで、また以前と同じように会いに来ることは可能ですか。

【事業所】 現在特養のご利用者さんの面会もまだ、特定の場所で感染対策を講じた上で実施している状況です。施設として今後どこまで緩和できるのか検討中です。そういった状況にて決定しましたらお知らせ致します。

○【川俣町地域包括支援センター H様】 地域の皆さんと連携しながら活動できる事業所さんとして進めて貰えればと思います。

【事業所】 ご家族のケアも大切だと思い、地域包括支援センターと共催して介護相談会等に参加させて頂いています。色々なネットワークに繋げることができたらと思います。また、地域の方でⅡ型を知らないという方にも相談会等を通して知って頂き、ご本人やご家族の支えになるのではないかと考えていますので、お困りの方がいましたらどうぞ宜しくお願いします。

※皆様からの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

引き続き、選ばれる事業所を目指してサービスの向上に努めて参りたいと思います。今後とも、宜しくお願い致します。

(6) 次回運営推進会議日程について

令和5年10月頃の開催予定。